

研究者の皆様へ!

研究成果の社会還元のための 大学発ベンチャー設立前段階支援のご案内

研究成果展開事業
大学発新産業創出プログラム

START

Program for Creating Start-ups
from Advanced Research and Technology

【プロジェクト支援型】

大学発新産業創出プログラム(START)では、
事業化ノウハウを持った人材「事業プロモーター」を活用し、
従来の公的資金による研究開発・事業育成の支援に、
民間の事業化ノウハウ(事業戦略・知財戦略)を組合せ、
ポテンシャルの高い大学等の研究成果の実用化・社会還元を実現し、
さらに持続的な仕組みとしての日本型イノベーションモデルの構築を目指します。



支援の概要 (平成31年度は変更される場合があります)

対象機関 (研究代表者の 所属機関)	国公立大学、国公立高等専門学校、大学共同 利用機関法人、独立行政法人(国立研究開発法人 含む)等のいずれかに該当する機関
採択件数	新規10~15プロジェクト程度
実施期間	原則、3年以下 (延長は原則認めません。ただし、事業領域の特徴、概念 実証(Proof of concept: POC)取得の必要性等に応じて、 最長5年の支援を審査により認める場合があります。)
事業規模	1プロジェクトあたり基本額年間3千万円(直接経費) ※実際の各プロジェクトへの配分額は、推進委員会の評価及び事業 プロモーターユニットの判断によって決定されます。

平成30年度審査の第1次申請公募は終了しました

応募は、通年受付中!!!

提出された第1次申請は、速やかに希望する事業プロモーターに技術
シーズを開示しますが、申請後は事業プロモーターが希望する場合を
除き原則相談はできなくなりますので、申請前の相談をお勧めします。
なお、審査等は平成31年度(予定)となります。

【お問い合わせ先】

国立研究開発法人
科学技術振興機構
START募集担当窓口
Tel : 03-5214-7054
E-mail : start-boshu@jst.go.jp



[http://www.jst.go.jp/
start/](http://www.jst.go.jp/start/)

START(プロジェクト支援型)の枠組み

大学発新産業創出プログラム(START)の「プロジェクト支援型」では、事業プロモーターと大学等の研究者をつなぎ、研究開発と事業育成を支援します。事業化に必要な研究開発、事業育成に関わる活動に公的資金を提供し、3年以内を目途に民間資金を活用しながらベンチャー企業の創出を目指します。

STARTの特徴

1. 事業プロモーターユニットと研究者が一体となり、専門人材(起業家、知財人材等)を含めたチームを形成しつつ、技術シーズの事業化に最適な研究開発・事業化計画を策定します。(事業化構想)
2. 事業プロモーターの投資家視点でのプロジェクト管理のもと、市場ニーズを踏まえて、マイルストーンによる研究開発・事業育成を行います。(プレベンチャー段階からの事業育成)
3. 企業価値の高い大学等発ベンチャーの創業と、プロジェクト実施を通じて民間資金の誘引を目指します。(起業とリスクマネー獲得)

応募について

(詳細は公募要領をご覧ください。平成31年度は変更される場合があります。)

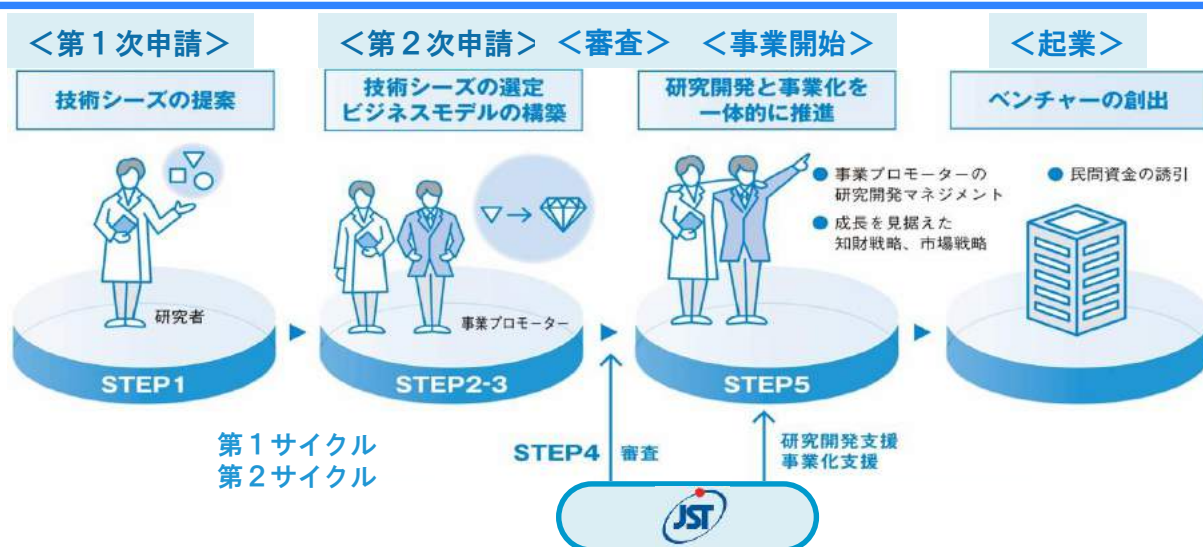
応募の主な要件

- 応募時点において、研究代表者(START実施期間中、中心となって研究開発を行う者)が、申請の核となる技術シーズの発明者である、もしくは発明に関わった者であること。
なお、シーズとは特許(出願中のものを含む)、プログラム等をいいます。
- 申請の核となる技術シーズについては、本プロジェクトを通じて創出されるベンチャー企業の実施に関してその発明者、帰属する機関等の同意が得られていること。
- 研究代表者は、研究開発の期間中、日本国内に居住し、かつ日本国内の大学等に常勤研究者として所属していること。

第1次申請

- 技術シーズの内容、事業案、ベンチャー設立への意欲、希望事業プロモーター等を所定様式に記載し、メールにて提出してください。
- JSTは技術シーズを、申請者が希望した事業プロモーターに開示します。

実施のイメージ



START「事業プロモーター」に、気兼ねなくご相談下さい!

ただし、第1次申請書提出後の研究者側からのご連絡はご遠慮ください。

事業プロモーターについては以下をご覧ください。

http://www.jst.go.jp/start/jigyoo_p/index.html